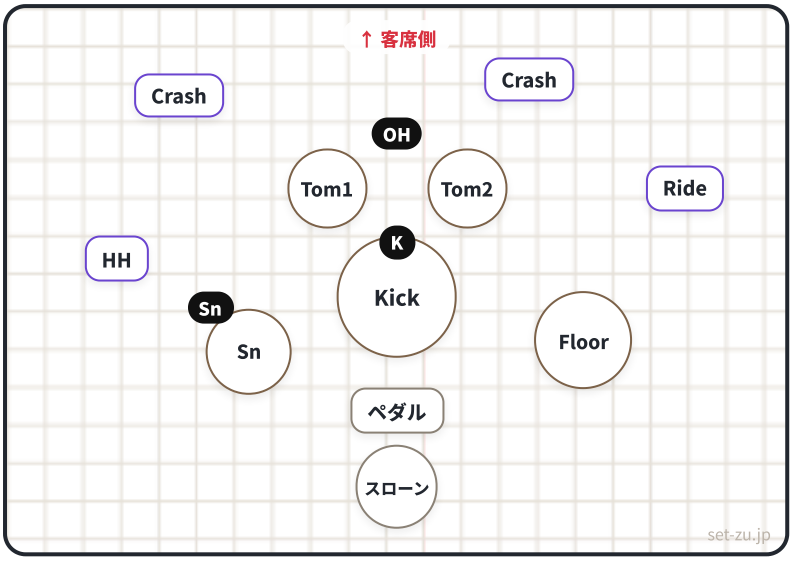
ドラムマイク位置の早見表 3本・5本・7本（上から見た図）

マイクは**黒い丸**。図は**ドラマーの席から見た向き**（上が客席）
距離は出発点。最後は**PAが音を聴いて**決めます

① 3本



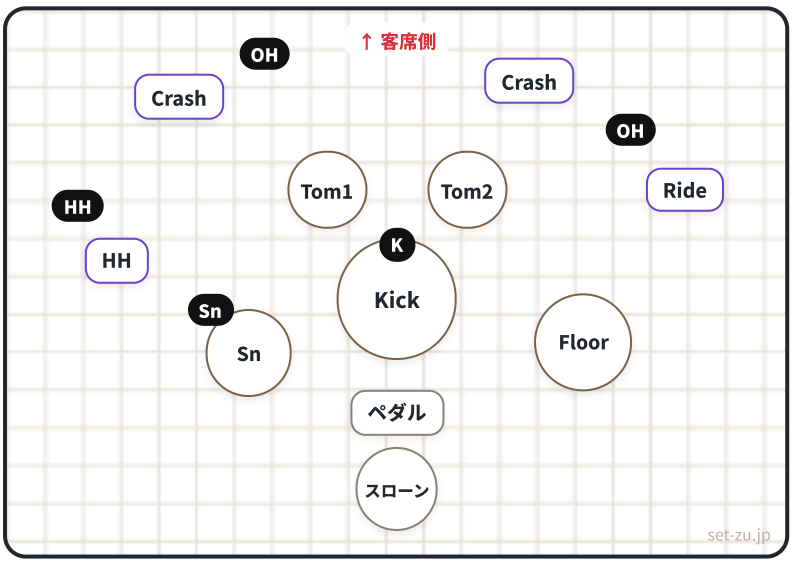
3本 Kick・Snare・OH 1本

OHは**キットの中央の上**に1本置き、タム・シンバル・ハイハットをまとめて拾う。ステレオで出すならスネアを外し、**Kick＋OH 2本**の3本にする組み方もある。

- K：客席側の穴から5〜8cm内側、ビーターへ
- Sn：11時の位置、打面の上約5cm
- OH：キットの中央の上（動かして探す）

会場にはこう伝える
Dr：マイクは3本（Kick・Snare・OH 1本）でお願いします

② 5本



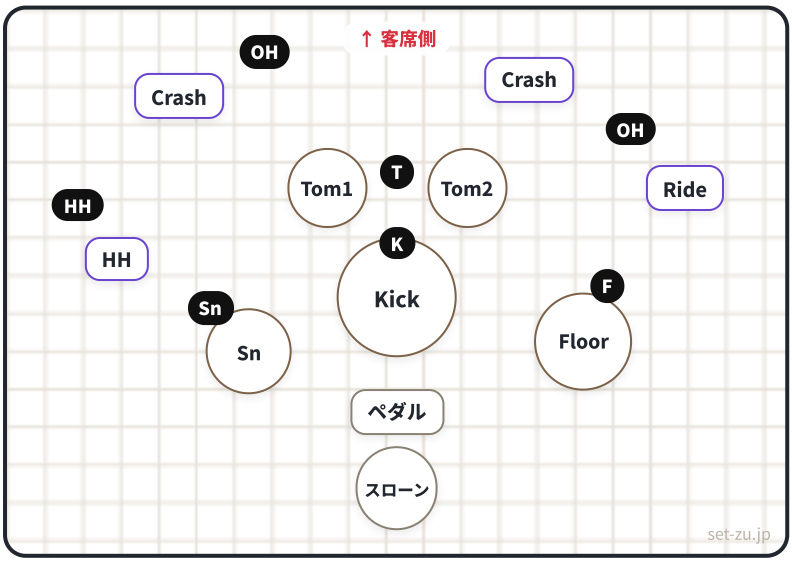
5本 Kick・Snare・HH・OH 2本

3本にハイハットを足し、OHを**左右のシンバルの上に2本**。タムはOHで拾う。

- K：客席側の穴から5〜8cm内側、ビーターへ
- Sn：11時の位置、打面の上約5cm
- HH：トップの5〜10cm上から下向き
- OH：左右のシンバルの上20〜25cm

会場にはこう伝える
Dr：マイクは5本（Kick・Snare・HH・OH 2本）。タムはOHで拾ってください

③ 7本



7本 Kick・Snare・HH・Tom・Floor・OH 2本

5本に、**タム1と2の間に1本**とフロアタムを足した形。タムを1つずつ拾うと8本になる。

- K：客席側の穴から5〜8cm内側、ビーターへ
- Sn：11時の位置、打面の上約5cm
- HH：トップの5〜10cm上から下向き
- T：タム1と2の間の8〜10cm上
- F：反対側のリム、打面の上約5cm
- OH：左右のシンバルの上20〜25cm

会場にはこう伝える
Dr：いつもの7本（Kick・Snare・HH・Tom・Floor・OH 2本）でお願いします

略号： K キック Sn スネア HH ハイハット T タム（1と2の間に1本） F フロアタム OH オーバーヘッド。キットの並びは右利き・2タムの標準形。

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

マイクの狙いと伝え方 位置・本数の決め方・文例・チェック

申告するのは**本数と持込の機種**だけ
OHは**返しに入れない**のが基本

① 各マイクの置く場所と、距離・向き（出発点）

マイク	置く場所	距離・向き
キック（K）	客席側の打面の穴	穴から**5〜8cm内側**に入れ、ビーターへ向ける。穴が無ければリムから5〜10cm内側で打面へ
スネア（Sn）	ドラマーから見て**11時**（ハイハットとタムの間）	打面の上**約5cm**、リムから指2本ぶん内側。打面へ傾ける
ハイハット（HH）	ハットの上、スネアから遠い側	トップシンバルの**5〜10cm上**から下向き
タム（T）	タム1と2の**間**（1本で2つ）	2つの間の**8〜10cm上**。1つずつ拾うなら、それぞれ打面の上約5cm
フロア（F）	ドラマーと**反対側**のリム	打面の上約5cm、リムから約5cm内側。打面へ45〜90度
OH（2本）	左右のシンバルの上	シンバルの上**20〜25cm**。ライブでは近めにして、ほかの音のかぶりを減らす
OH（1本）	キットの中央の上	置いてから少しずつ動かし、キット全体がいちばん聞こえる所を探す

距離は出発点です。最後はPAが音を聴いて動かします。ドラマーが申告するのは本数と、持ち込むマイクの機種だけで足ります。

② 本数の決め方

こういうとき	本数の目安	理由
狭い会場・弾き語り	**3本（K・Sn・OH 1本）**	小さなライブなら少ない本数で足りることが多い。そのぶん部屋の響きの影響は大きくなる
ステレオで出したい	**3本（K・OH 2本）**	ステレオにするときの最小の組み方
入力が足りない	**タム2つを1本で**	ラックタム2つの間、8〜10cm上に1本
シンバルが多い	**OHを3本**	シンバルの多いセットでは、OHを3本にすることもある
スネアの裏	**付けないのが基本**	表の1本で足りることが多い。裏は任意
こだわりがない	**会場の常設どおり**	本数は会場の広さ・響き・ジャンル・**会場にあるマイクとchの数**で決まる

会場の常設マイクの例（新宿SAMURAIの機材表）：SM57×6、BETA52A×1、BETA91A×1、e904×5、e906×2、e901×1、AUDIX F-9×3。用途は書かれていないので、何本使えるかはPAに聞きます。

③ 会場に伝える一文（備考欄にコピーして使えます）

こういうとき	備考欄にこう書く
3本でいい	Dr：マイクは3本（Kick・Snare・OH 1本）でお願いします
5本	Dr：マイクは5本（Kick・Snare・HH・OH 2本）。タムはOHで拾ってください
7本（標準）	Dr：いつもの7本（Kick・Snare・HH・Tom・Floor・OH 2本）でお願いします
おまかせ	Dr：マイクの本数と位置はおまかせします。スネアの裏は不要です
スネアだけ持込	Dr：スネアのマイクだけ持込（SM57）。ほかは会場のものをお借りします
タムにクリップ	Dr：タムはクリップ式のマイクを2本持込。**タム用のスタンドは不要**です
コンデンサ持込	Dr：OHにコンデンサを2本持込。**48V**をお願いします
返しの希望	Dr：返しはキック・スネア・Vo多め。**シンバル（OH）は返さなくて大丈夫**です

④ 提出前チェック（9項目）

本数

- ☐ **本数を決めた（3本・5本・7本・おまかせ）**
  迷ったら「おまかせ」で通じる
- ☐ **タムを1本で拾うか、1つずつかを決めた**
  入力が足りなければ2つの間に1本
- ☐ **OHを1本にするか2本にするかを決めた**
  ステレオで出すなら2本

持込

- ☐ **持ち込むマイクの機種と本数を書いた**
  スネアだけ、タムだけ、など
- ☐ **クリップ式ならスタンド不要と書いた**
  スタンドの本数が変わる
- ☐ **48Vが要るマイクを書いた**
  コンデンサを持ち込むとき

提出

- ☐ **セット図のDrは1ブロックで描いた**
  マイクの位置はこの早見表を添付
- ☐ **返しに欲しい音を書いた**
  OHは返さない
- ☐ **回線表のドラムの行を本数と合わせた**
  回線表は別のテンプレートで

ファイル名の型
日付_バンド名_ドラムマイク.pdf
セット図・回線表と名前を揃えて送る

セット図くんで作るなら
ドラムは1ブロックで置き、本数は備考に1行。PDF・共有URLで提出（set-zu.jp/app/）

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp